

キャリア

プロフェッショナル 仕事の流儀 愛を信じて、生きていく ウエディングプランナー 佐伯恵里

放送日：2021年12月14日 放送時間：45分



対象校種 中学 高校

対象教科 総合 道徳 学級活動

この番組の良さ



● “結婚式”と結婚した人

ウエディングプランナーの佐伯恵里さんは、群馬を拠点としながらも全国から依頼が届きます。“ウエディングの甲子園”と呼ばれる「GOOD WEDDING AWARD」で数々の賞を受賞し、担当した結婚式は2,000を超えています。彼女には、かつて人間不信の中で仕事に通えなくなった過去と、15年前に自分を変えてくれたある結婚式がありました。本気で結婚式をつくる彼女の姿にどんどん引き込まれます。

● 結婚式は未来へのお守り

佐伯さんは、コンセプトミーティングに時間をかけ、新郎新婦に人前では答えにくい問いをストレートに投げかけます。それは新郎新婦を知ると共に、新郎新婦の二人が自分たちを見つめて知って欲しいと考えているからです。新郎新婦の話に否定も肯定もせず、二人の中から自然とにじみ出てきたものから結婚式をイメージし、新郎新婦のこだわりや参列する人の思い出も交差させ、式をデザインしていきます。佐伯さんは、結婚式の思い出がこれからの人生のしんどい時を乗り越えるお守りになって欲しいと考え、仕事に取り組んでいます。

番組を通じて、自分と仕事との向き合い方や、生き方を見つめることができます。

番組活用のポイント

● 「ウエディングプランナー」という職業について知る

結婚式を企画・運営するブライダル業界の仕事にあこがれを持っている生徒は多いはずですが、ウエディングプランナーはその花形と呼べる職業で、華やかなイメージがあります。

この番組を教材として視聴し、「どうして佐伯さんはこんなに一生懸命に仕事に取り組むのか」を生徒に考えさせることで、ウエディングプランナーという職業のやりがいや奥深さや仕事と向き合うスタンスなど多くを学び、この仕事の広がりや認識することにつながります。キャリア教育としての正しい職業観を育むことができるでしょう。

● 挫折を乗り越えて天職を見つける

結婚式が好きすぎて「結婚式と結婚しているみたい」と語り意欲的に働く佐伯さんですが、高校卒業後に様々な挫折を経て、ウエディングプランナーの仕事に出会いました。自分らしい生き方で輝いている佐伯さんの姿から、生徒はあきらめずに自分の道を探すことの大切さを学ぶことができます。

道徳教育として、「将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」をねらいとして取り上げることも考えられます。

● 複数の番組と連動して学ぶ

ティーチャーズ・ライブラリーには、生徒が憧れる職業を扱った仕事ハッケン伝「MEGUMI×花屋」やプロフェッショナル仕事の流儀「あたり前が一番むずかしい パティシエ 杉野英実」があります。合わせて活用してみたいかがでしょうか。



執筆者
松江市立義務教育学校 玉湯学園
教諭 瀬崎邦博

学習展開例

ウェディングプランナーとして活躍する佐伯さんの姿から仕事の魅力を考えよう

対象校種 中学 高校
対象教科 総合 道徳 学級活動

【授業時間 50分】 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>ウェディングドレスデザイナー フラワーコーディネーター メイクアップアーティスト ホテルマン カメラマン 調理師</p> <p>結婚式で人を喜ばせるたくさんの仕事がある。ウェディングプランナーは、どんな仕事だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 結婚式で人を喜ばせる仕事には、どんな仕事があるか尋ねる。 より興味・関心を高めたい場合は、タブレット端末などを活用し、調べ学習の時間を設定する。
<p>番組分割視聴 (開始～3分17秒まで)</p> <p>“結婚式”と結婚している。 全国、2000件以上の結婚式を手がける。 人生はドラマチック。心の中まで届ける。 結婚式つくって人生つくってのと一緒に。</p> <p>涙と笑顔があふれる結婚式をつくるウェディングプランナーの佐伯さんってすごい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ウェディングプランナーについて簡単にふれる。 番組を見て印象に残ったことを聞く。
<p>どうして佐伯さんはウェディングプランナーの仕事に一生懸命なのだろう？</p>	
<p>番組分割視聴 (3分18秒～25分40秒)</p> <p>コンセプトミーティングに数時間かける。 答えにくい問いを質問し、ひたすら聞く。 否定も肯定もしない。私の色に染めない。 コンzeptシートという手作りの企画書を作る。</p> <p>本当の目的は、新郎新婦の二人が自分たちを見つめて知って欲しいということ。 私の色には染めたくない。新郎新婦のこだわりや参列する人の思い出を大事にしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の求めに応じて、番組を紹介し、視聴する。 自分の思いや考え、心に残ったことを書く時間を設定し、タブレット端末に記入するなどして、全体で共有する。
<p>15年前に佐伯さんを変えた挙式があった。「結婚式は、未来への、お守り」 そのために、佐伯さんは相手の思いを聞き、何を求めているのかを知ることに関心をもち、式を終えた後の人生にまで思いをはせている。佐伯さん自身の心も人の優しい面にふれることで、結婚式をつくるのがめちゃくちゃ楽しく、すごく幸せな気持ちになるからだ。</p>	
<p>・自分も佐伯さんのように、人の未来を信じて、思いをはせて、真心で寄り添える人材になりたい。 ・仕事についてもっと知りたい。もっと考えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意見交流する時間を設定し、自分の見方・考え方を広げる。 【主体的に学習に取り組む態度】 佐伯さんの仕事に対する思いや仕事ぶりから学んだことを、これからの自分の考え方や生き方に生かそうとしているか。